

1 療育指導とは

ASD(自閉症スペクトラム障害)の児童生徒が障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための指導や支援を効果的に展開できるよう、指導の充実を図っています。

2 療育指導担当の役割

〈入込指導〉

自立活動の指導を効果的に展開するため、学級の授業に入り込み、参観・助言を行う。

〈担任との連携〉

ASDの中核的な障害にアプローチし、社会性の育成を図るとともに、一人一人の強みを伸ばす取組を校内全体で推進する。

各種アセスメントや行動観察を通して、有効な指導方法を立案し、学級の指導に生かす。

〈医療との連携〉

医療専門職派遣事業を活用し、外部専門家から助言を得て指導に生かしたり、校内外の関係諸機関と連携して支援の共有化を図ったりする。

3 指導の実際

【社会性の育成】

自立活動、遊びの指導、作業学習等の学習の中で、社会性を育むことを目指し、注視する、模倣する、相手と動きを合わせる、コミュニケーションをとる等、友達同士の協働活動を設定しています。



相手と息を合わせ、協力する活動を設定しています。



互いの動きに合わせて協力して運びます。



【強みを伸ばす指導】

自立活動の視点で、一人一人の得意なことに着目し、基礎から取り組むことで、地域生活で生きる力を育てられるよう、強みを伸ばす指導を進めています。



集中して制作や作業に取り組み、細部まで緻密に描いたり塗り込んだりしています。

4 療育学習室

療育学習室では、大型遊具を使って、揺れたり回ったり、バランスをとったりして、様々な感覚を活用し、身体のコントロール力やボディイメージを高める活動を行っています。友達や指導者と関わって楽しく身体を動かし、社会性を育てることもねらいます。



サンライトスイング

揺れる感覚を楽しみながら、バランスをとって座ったり立ったりして乗れるよう身体をコントロールする力を育てます。

セーフティマット



ソフトブロック



台車



ミニトランポリン



ホーススイング

心地よい揺れの感覚を楽しみながら、友達と一緒に場所を譲り合ったり、「押して。」と要求を伝えたり、「3・2・1」の合図で目と目を合わせたりと、様々な関わりを引き出します。